

ふくしま恋活ステップアップ事業に係る 企画プロポーザル提案用仕様書

1 委託業務の名称

ふくしま恋活ステップアップ事業

2 委託業務の目的

本事業は、出会いや交際に関する若い世代の意識を踏まえ、友達づくり以上、婚活以下という若い世代のニーズに沿った出会いの場を提供することを目的とする。

また、異性との交際に不安を抱える参加者に対して、交際パフォーマンス向上のイベント前後のセミナー等の参加者に寄り添った伴走支援を実施し、効果的な出会いの創出を目的とする。

3 予算上限額

35,000,000円（消費税及び地方消費税込み）

4 委託期間

契約締結の日から令和9年3月31日まで

5 委託業務の内容

(1) 業務概要

受託者は、本事業を円滑に実施するため、事務局を設置し、以下の業務を一体的に企画・運営すること。

ア 大規模マッチングイベント（以下、イベントという。）の開催

KPI:

- ① イベント回数：3回以上実施
- ② 各イベント参加者：各イベント定員の85%以上確保
- ③ 総マッチング数：3回合計75組以上

イ イベント前後のフォローアップセミナー等の伴走支援（以下、伴走支援という。）

KPI:

- ① 実施回数：上記アのイベントに合わせて前後1回以上実施
- ② 対象者：上記アのイベント参加予定者40名程度（男女比はおおむね半数ずつ）

ウ 情報発信を通じた気運醸成

KPI：ゲストによる情報拡散 各イベント1回以上

(2) イベントの企画・実施

ア 開催概要

- ① 開催回数：3回以上
- ② 対象者：福島県内在住者又は在勤者を原則とした35歳以下の独身男女
- ③ 参加人数：各回100名以上（男女比はおおむね半数ずつ）

詳細は、別紙1「イベント開催概要」のとおり

イ イベント広報・参加者募集

(広報)

- ① SNS等のデジタル媒体を中心に広報を行い、十分な参加者を確保すること。デジタル広告を展開する場合は、事前に県に協議すること。

【想定している媒体】

I n s t a g r a m、L I N E等のSNS、受託者の有するHPやアプリ等

- ② 紙媒体の広報ツールを制作し、県内の市町村や団体等への配架調整や送付を行うこと。

なお、県からの依頼文等が必要となる場合や、県からの事前の声かけを行うことでスムーズに調整できる場合は協力するものとする。

【想定している制作物】

チラシ：A 4カラー両面 6,000枚（イベント3回＋伴走支援1回 計4種）

ポスター：B 2カラー片面 300枚（イベント3回 計3種）

（募集）

- ① 募集においては、事前に応募フォームを作成し、受付・管理等を行う。
- ② 受付後に当落連絡等や参加者へイベント詳細の案内等をスムーズに行えるよう、連絡体制を確立すること。
- ③ 応募者多数となった場合、委託者の選定により参加者を決定するため、各回締切後、受託者の選定案を付して応募者リストを委託者へ提出すること。

（3）伴走支援

3回以上のイベントのうち1回以上のイベントにおいて、その前後にセミナーや個別支援等による伴走支援を実施すること。

原則として、3回目のイベント参加予定者を支援対象とし、1回目のイベント後に支援対象者の募集・決定をするものとする。

ア 実施体制

福島県内において結婚支援、婚活支援、交際支援等の実績を有する者を主たる支援担当者として配置すること。

イ 実施方法

上記アの支援担当者を中心として実施するほか、必要に応じて県内事業者等との連携、再委託等による実施を可能とする。

伴走支援を行うイベントを決定し、支援実施計画を策定すること。

支援対象者は、イベント参加予定者40名程度を想定しており、支援対象者のうち誠実に支援を受けた者に対し、イベントの優先参加権を与え、予算額に応じた人数にイベント当日のトータルコーディネートを実施すること。

実施方法は、対面またはオンラインのいずれの方法でも可能とする。

基本的な業務フローは以下のとおり。

- ① 伴走支援を行うイベントの決定
- ② 支援実施計画の策定
- ③ 支援対象者の募集
- ④ イベント前伴走支援の実施（概ね3か月）
- ⑤ イベント後伴走支援の実施（概ね2か月）

ウ イベント前伴走支援（概ね3か月）の留意事項

支援対象者に異性との交際パフォーマンス向上に資する、自分磨き、コミュニケーション方法、交際に関する基礎知識等をテーマとしたセミナーのほか、個別の相談支援や支援対象者同士が実際に交流する過程で交際パフォーマンスが向上していることを感じられる実践的なミニイベント等を実施すること。

支援対象者の支援履歴をまとめ、誠実に取り組んだ者を判別できるようにすること。

- ① 交際パフォーマンス向上等に資する動画配信・オンラインセミナー：週3回以上
- ② 対面セミナー・ミニイベント等：月1回以上
- ③ 伴走支援対象者からの相談対応：随時

エ イベント後伴走支援（概ね2か月）の留意事項

イベントでマッチングした支援対象者を対象とし、メッセージのやり取りへのアドバイ

スやデート対応の相談など交際の継続に向けたフォローを実施すること。

(4) イベントゲストを活用した情報発信・プロモーション

別紙1「イベント開催概要」ゲストの留意事項で示した内容を踏まえ、ゲストの有するSNS等からもイベントに関する事前情報や、イベント実施後の振り返りなどを情報発信・拡散させること。

(5) 追跡調査

イベント参加者に対し、イベント後1か月と3か月に交際状況等に関する追跡調査を行うこと。追跡調査にあたっては、より多くの回答が得られる策を講ずること。

(6) 個人情報の取扱い及びトラブル対応

- ア 参加者の個人情報は関係法令を遵守し、適切に取得・管理・利用すること。
- イ 個人情報の取扱目的等を参加者に分かりやすく説明し、同意を得ること。
- ウ トラブルや苦情発生時の相談・対応体制を整備し、速やかに対応すること。
- エ デジタルツール等に起因する事故やトラブルについては、受託者の責任において対応すること。

6 企画提案事項

上記「5 委託業務の内容」で示した業務内容全般に係る進め方、手法等について提案するほか、以下について特に具体的かつ実現可能な提案を行うこと。

(1) イベントの企画・実施について

提案にあたっては上記「5 委託業務の内容」のほか、「別紙1 イベント概要」、「別紙2 イベント企画イメージ」及び以下の留意点を踏まえて提案すること。

プロポーザルの段階では、日時・場所・ゲスト等の設定は仮のもので差し支えないが、実現可能性が高いものに限る。

(提案数)

イベント企画数 3企画

3回目の企画は、原則下記(2)の伴走支援付きイベントとなるよう企画すること。

(提案時の留意点)

ア イベント企画

企画の若い世代にアピールできるポイントを明記すること。

イ 開催場所

候補施設名、アクセス、収容人数、選定理由等を明記すること。

ウ 活用するデジタルツール・アプリ等

マッチング・交流促進に使用するツールやアプリの名称、機能、運用方法(操作例等)。参加者の操作負担、個人情報保護対応も含めること。

エ ゲスト

起用候補者、起用理由、若い世代からの認知度(SNSフォロワー数等)のほか、イベントにおけるパフォーマンスの内容や話題性の程度、参加者のモチベーション向上への効果も示すこと。

オ 集客・広報方法

SNS、広告、紙媒体等、ターゲット層に合わせた集客・広報戦略案を提案すること。

イベントの認知度や話題性向上に係る広報施策も含む。

(2) 伴走支援について

提案にあたっては上記「5 委託業務の内容」及び以下の留意点を踏まえて提案すること。

(提案数)

伴走支援に係る企画 1パッケージ

(提案時の留意点)

ア 実施体制

配置する主たる支援担当者の選定理由（過去の実績やスキル等）も含めて提案するほか、他に連携して進める県内事業者や、再委託先等がある場合はどのような役割分担で進めるのかイメージできるように提案すること。

イ イベント前・後の伴走支援の内容

支援内容（セミナー、個別の相談体制等）、対象者の募集方法、期間、実施方法（オンライン・対面）など、上記「ア 実施体制」と合わせて一体的に提案すること。

(3) 情報発信・プロモーションを通じた機運醸成

提案にあたっては上記「5 委託業務の内容」を踏まえて提案すること。
ゲストごとに適切な情報発信・プロモーション計画を設定し提案すること。

(提案数)

ゲストごとに1計画 計3計画

(4) その他予算の範囲内で実施可能な取り組み（独自提案）

その他予算の範囲内で実施可能な独自の取り組みがあれば、実現可能性の高いものを提案すること。

(5) その他留意事項

- ア 関係法令を遵守し、参加者の安全確保に十分配慮すること。
- イ 業務実施に疑義が生じた場合は、委託者と協議のうえ対応すること。

項目	仕様
開催回数	3回以上
開催時期	6～12月末
開催日	土日祝
開催場所	若い世代の認知度が高い福島県内の屋内施設 ※参加者の主な来場手段が自家用車であると想定される会場で開催する場合は、十分な収容台数を有する駐車場を確保すること。また、確保した駐車場から会場までの距離が遠い場合は、駐車場と会場間で臨時バスを運行するなどの策を講じること。
対象者	福島県内在住者又は在勤者を原則とした35歳以下の独身男女
参加人数	各回100名以上（男女比はおおむね半数ずつ）
イベント企画内容	各回のイベントにおけるプログラムは、若い世代が魅力的に感じ、参加者同士の交流を促進する内容とすること。また、参加者同士のマッチングに繋がるよう、十分な交流時間の確保に努めること。 (必須事項) ○デジタルツール等の活用 イベントで対象とする若い世代の参加者同士が、効率的かつ心理的負担の少ない形で交流を深められるよう、100～200名規模のイベントにおいて、円滑にマッチング可能なデジタルツールやアプリケーション等を活用すること。 イベント当日の参加者プロフィール閲覧や、イベント内で好意を伝えるアプローチ、マッチング確認機能を備えること。 ○飲食物の提供方法及びアルコール類提供の禁止 イベント内で飲食物を提供する際は、会場内で提供されるサービスを原則とし、アルコール類の提供は禁止とする。
参加費	参加者に対して参加費を設定することができるが、全額事業費へ充当し、受託者の利益としないこと。
司会	司会者を起用し、イベントの進行及び参加者同士の交流を促進させること。 (必須事項) ○司会者は、福島県内において、婚活イベント等での司会実績を有する者を起用すること。 ○司会者は単なる進行役にとどまらず、参加者同士の交流を促進するファシリテーターとしての役割を担うこと。
ゲスト	ゲストを招聘し、事業の話題性向上、参加者との交流促進及び情報発信・拡散に寄与させること。 (留意事項) ○イベントで対象とする若い世代の参加者から高い認知度を有し、情報を拡

	<p>散できるゲスト（芸能人、タレント、インフルエンサー等）を起用し、事業の話題性向上を図ること。</p> <p>○各回のイベントでは異なるゲストを起用することを想定しており、実際にイベントに参加し、参加者との交流を行うだけでなく、ゲストの有するSNS等からもイベントに関する事前情報や、イベント実施後の振り返りなどを情報発信させること。</p> <p>○ゲストの選定や契約条件については、事前に県と十分に協議を行うこと。</p>
アプローチ タイム	<p>イベント序盤～中盤において、デジタルツール等を活用したアプローチタイムを設け、参加者同士が好意を確かめられる機会をつくること。</p>
マッチング タイム	<p>イベント終盤において、デジタルツール等を活用し、双方向で好意を確認し最終的に連絡先等を交換するマッチングタイムを設けること。</p> <p>マッチング後にマッチングした男女が交流できる時間を設けること。</p>
アンケート	<p>参加者に対して、各回のイベント終了後にアンケートを実施し、集計したものを報告すること。</p> <p>アンケート内容については事前に県と協議の上決定することとする。</p>
追跡調査	<p>イベント参加者に対し、イベント後1か月と3か月に交際状況等に関する追跡調査を行うこと。追跡調査にあたっては、より多くの回答が得られる策を講ずること。</p>